

## 2023年度 千住学部時間割

科目名称	教育実習（小）
授業コード	BN353
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	4.0
担当教員	鈴木 貴史（共通・教職資格系科目・卒業生発行区分）
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	(A)社会的基礎能力 (B)自己実現能力 教育職員免許法に定められた教職に関する専門科目の一つであり、教育実習を通して、学校教育の実態を総合的に理解する。 大学で学修した教科・教職に関する理論や知識・技能と実習校での教育活動（教育実践）とを相互に関係させて学ぶ
科目に関連する実務経験と授業への活用	私立学校教員としての実務経験を生かし、学校における教科指導と児童・生徒指導の実際を踏まえて指導、助言していく。
到達目標	【教職専門科目に関する知識・技能に関する到達目標】 確かな教材研究と児童理解を踏まえた上で、教科の単元指導計画を立案し、学習指導案を作成して、授業実践ができる。 児童観察を踏まえた児童理解のもとで、学級経営、生徒指導にあたり、自分の指導観を深めてゆくことができる。 【汎用能力としての学士力についての到達目標】 指導計画の立案（P）・実践（D）・振り返り（省察）（C）・修正実践（A）のサイクルの必要性を理解し、実践できるようになる。
計画・内容	<2年次> 実習に関するガイダンス 実習申し込み、実習先確保 都教委及び実習校からの内定 <3年次> 実習校でのボランティア活動 事前指導（13回） ・実習の心構え ・書類の作成 ・学習指導案作成と模擬授業 ・各種講話 4週間の実習 ・観察実習 ・教材研究、授業実習 ・研究授業、研究協議 ・実習日誌への記録 ・大学教員による巡回指導 事後指導（2回） ・振り返りとレポートの作成 ・教育実習報告会
授業の進め方	・実習中の観察、授業実践、研究授業 ・大学教員巡回指導

## 2023年度 千住学部時間割

能動的な学びの実施	・実習中の観察、授業実践、研究授業
授業時間外の学修	時間外の学習として、授業実習の準備、教育実習日誌への記録などを行う。
教科書・参考書	・帝京科学大学「教育実習の手引き」 ・特になし
成績評価方法と基準	実習校からの成績 80% 実習日誌 10% 実習レポート及び実習発表会 10%  ～ を総合して評価する
課題等に対するフィードバック	教育実習における実習校からの評価について、フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus squareを参照。
留意事項	・教育職員免許法に定められた教職に関する科目、教員免許状を取得するための必修科目である ・実習の前年度末までに教育実習参加要件を満たしていること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・授業動画配信によるオンデマンド授業または課題学修とする。 成績評価方法 ・授業中課題50%と期末レポート50%で評価する。